

アクセス



■ JR中央線・総武線 ■ 東京メトロ東西線 ■ 京王井の頭線

吉祥寺駅

○ 北口[1]番、[2]番 乗り場より関東バス ※すべてのバスが停車します
「成蹊学園前」下車、バス停より徒歩8分

■ JR中央線・総武線 ■ 東京メトロ東西線

三鷹駅

○ 北裏、武蔵関駅、田無橋場 行 北口乗り場より関東バス
「緑町住宅」下車、バス停より徒歩10分

■ 西武新宿線

西武柳沢駅

○ 吉祥寺駅 行(関東バス) 「成蹊学園前」下車、バス停より徒歩8分

武蔵関駅

○ 三鷹駅 行(関東バス) 「緑町住宅」下車、バス停より徒歩10分
○ 南口より徒歩20分

■ 西武池袋線

保谷駅

○ 吉祥寺駅 行(西武バス) 「慈雲堂前」下車、バス停より徒歩10分
○ 吉祥寺駅 行(西武バス) 「武蔵野第四小学校」下車、バス停より徒歩10分

大泉学園駅

○ 吉祥寺駅 行(西武バス) 「武蔵野第四小学校」下車、バス停より徒歩10分

※バスは時間帯によって本数が少ない場合があります。
お確かめのうえ、ご利用ください。



アクセスについてはこちらをご覧ください

SEIKEI 成蹊中学・高等学校

積み重ねた問いが、君の^{みち}蹊をつくる。

<https://www.seikei.ac.jp/jsh/>

〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-10-13

☎ 0422-37-3818 ☎ 0422-37-3863 ✉ chuko@jim.seikei.ac.jp

※許可のない本誌の複写・複製、インターネットやSNSへの投稿は禁じます。



Webサイト



Instagram

2025.04.15,000

成蹊は、人を創る



— 教育目標 —

本校は、「個性の尊重」「品性の陶冶^{とうや}」「勤労の実践」の三つの建学の精神に基づき、以下の教育目標を掲げ、自ら課題を発見し、解決できる「0 to 1」の発想が持てる人材の育成をめざしています。

多様性を持って
グローバルに対応できる能力と個性の育成

自立精神と自律的行動力を持って
社会に貢献できる人材の育成

リベラルアーツによる知的好奇心と
物事の本質を見極める探究心の育成

成蹊での学びから 「0 to 1」^{ゼロ トゥ ワン}の発想を 持つ人材に

校長 仙田 直人



成蹊学園には、創立者中村春二先生の「知育偏重ではなく、人格、学問、心身にバランスの取れた人間教育を実践したい」という精神が今も流れています。この達成のため、1912年の創立以来、建学の精神である「個性の尊重」「品性の陶冶」「勤労の実践」を尊重してきました。そして、幅広い教養を持たせるリベラルアーツを重視し、生徒一人ひとりが「本物に触れる」体験の中から、自身の「琴線に触れる」学びに出会う機会を作ってきました。

その学びを深めるため、生徒の「なぜ？」を大切にし、その疑問を解決するための探究的な学習を多く取り入れています。「個性の尊重」は、偏差値では測れない発信力やコミュニケーション力といった非認知能力を育み、解答の無い社会であっても、新たなものを創造する「0 to 1」の発想を持つことに繋がります。

また、他者の個性も理解し尊重する「共感力^{エンパシー}」も育てます。成蹊学園が「ユネスコスクール」に認定される中、サステナブルな取り組みを通して、品格と教養の両面を備えた人間性を培うことが「品性の陶冶」なのです。そして、「勤労の実践」として、学校で学んだことを実社会に結びつける教育を行い、思いやりを持って国際社会で貢献できる人材を育成しています。

中学・高校の6年間は、人生において「人を創る」大切な時期です。本校では、この時期に帰国生や留学生など多様な考え方を持つ友と出会い、グローバルな体験や幅広い学びを通して、心豊かな人間性を培っていきます。緑濃き武蔵野が残るキャンパスで、共に学びたい気持ちを持った生徒と出会うことを、心から楽しみにしています。



成蹊学園創立者 中村 春二

成蹊の 教育理念

EDUCATIONAL POLICY

偏りのないものの見方を身につけ、
確固たる信念と人格を持った人間へ。
創立者 中村春二の情熱が息づく人格教育は、
永い時を経て今なお成蹊教育の核となっています。

成蹊学園の創立者 中村春二は、明治末期の画一的な教育や教育機会の不均等に疑問を持っていました。そこで「知育偏重ではなく、人格、学問、心身にバランスの取れた人間教育を実践したい」と、1912(明治45)年に成蹊実務学校を創立。「個性の尊重」「品性の陶冶」「勤労の実践」という建学の精神を柱とした成蹊教育は、その使命を見失っていた当時の教育への鋭い警鐘となりました。
そのような理念の中に込められた中村春二の情熱は、時代がどのように変遷しようとも決して変わらないものであり、今日まで着実な歩みを進めてきた本校に今も脈々と息づいています。

校名・校章の由来

とうりふげんかじせいけい 桃李不言下自成蹊

桃李ものいはざれども、下おのづから蹊を成す

「成蹊」という名は、この言葉に由来しています。桃や李(すもも)は何も言わないけれど、美しい花を咲かせ、おいしい果実を実らせます。すると、それにひかれて人が集まり、樹木の下には自然と蹊(こみち)ができる。桃や李は、人格のある人のたとえで、つまり、そういう徳のある人には、その徳を慕って人々が集まってくる、という意味です。



成蹊の文字を葉のついた桃の実の上に配した校章は、中村春二自らが考案したものです。時代とともに少しずつ形を変えてきましたが、「桃李不言下自成蹊」の精神を表したシンボルとして親しまれ続けています。



実務学校開校当初の授業風景



理化館での授業風景



新制中学校歴史の授業風景



旧制高等学校物理の授業風景

建学の精神

時代を超えて変わることなく受け継がれる精神

個性の尊重

自らの個性を伸ばすことはもちろん、皆が互いに思いやり、それぞれが持っている個性を認め合うこと。これは異なる文化や習慣を理解し、尊重することにも通じ、グローバル社会におけるコミュニケーションには欠かすことのできないものです。

品性の陶冶

多くの仲間と触れ合い、切磋琢磨しながら自らを高め、品格と教養をバランスよく備えた優れた人格の育成を意味しています。中村春二は「心を育てる教育」として、良いものを鑑賞すること、自然と親しむこと、科学を研究することなどを特に奨励しました。

勤労の実践

机上の学びには限りがあり、実際に体験し、本物に触れることが重要なことはいうまでもありません。人のためにはたらくことを厭わず、自らに置き換えて動くことができて初めて、誇りを持って社会の発展に貢献できる人になり得るのです。

ぎょうねん 凝念

授業の前に集中力を高め気構えを養う、伝統の精神集中法

手を組み、目を閉じ、呼吸を整え、精神を集中する。中村春二が教育に取り入れた独自の精神集中法が「凝念」です。ここには、「精神を集中させ、それを持続する習慣を養うことは教育の徹底に不可欠である」という創立者の教育理念が継承されています。現在では中高ともに朝礼で行われており心を落ち着かせ、授業への集中力を高めます。



ユネスコスクール

成蹊学園は2019年11月、パリのユネスコ本部より、ユネスコスクールとして認定されました。成蹊学園がユネスコスクールに認定されたのは、「個性の尊重」「品性の陶冶」「勤労の実践」という建学の精神に基づく教育実践がユネスコ憲章に通ずるものとして高く評価されたからです。ユネスコスクールに認定されたことを機会に成蹊学園はその教育理念と実践を広く国内外に向けて発信していきます。



落ち葉集め(中学校前庭)



沿革

1906年 (明治39年)	中村春二 自宅に学生塾を開塾 翌年、「成蹊園」と命名
1912年 (明治45年)	成蹊実務学校創立 黙想による精神集中法「凝念」開始
1914年 (大正3年)	成蹊中学校開校
1917年 (大正6年)	成蹊女学校開校 成蹊実業専門学校開校
1924年 (大正13年)	中村春二 死去 池袋から吉祥寺に校地移転
1925年 (大正14年)	旧制 成蹊高等学校(七年制)開校 気象観測装置を設置、気象観測開始
1926年 (昭和元年)	高等学校教諭加藤藤吉の生徒指導により 気象観測法に準拠した正式観測開始 (1959年「成蹊気象天文観測所」設置)
1947年 (昭和22年)	新制 成蹊中学校開校
1948年 (昭和23年)	新制 成蹊高等学校開校
1949年 (昭和24年)	成蹊大学開学 セントポールズ校(アメリカ)への留学開始
1964年 (昭和39年)	小学校・中学校「国際特別学級」開設
1970年 (昭和45年)	カウラ高校(オーストラリア)との交換留学を開始
2003年 (平成15年)	カウラ高校短期留学を開始
2004年 (平成16年)	学園「国際教育センター」開設
2006年 (平成18年)	ケンブリッジ大学(イギリス)への 短期留学を開始
2007年 (平成19年)	中学校 1クラスの少人数化実施
2012年 (平成24年)	学園創立100周年
2014年 (平成26年)	成蹊中学校創立100周年 カリフォルニア大学デービス校(アメリカ)への 短期留学を開始
2015年 (平成27年)	チョート・ローズマリー・ホール校(アメリカ)への サマースクール派遣を開始
2016年 (平成28年)	チョート・ローズマリー・ホール校への 長期留学を開始 フィリップス・エクセター・アカデミー校(アメリカ)への サマースクール派遣を開始
2017年 (平成29年)	ルンステッド高校(デンマーク)、 カルマレー国際高校(スウェーデン)への 短期留学を開始
2019年 (令和元年)	学園「ユネスコスクール」に認定
2023年 (令和5年)	ターム留学(カナダ)を開始
2024年 (令和6年)	セント・ラファエルズ・カソリック・スクール (オーストラリア カウラ市)への短期留学を開始 ニュージーランド短期留学を開始
2025年 (令和7年)	セント・ラファエルズ・カソリック・スクールとの 長期交換留学を開始



Seikei Days

この毎日が、
未来の礎になる。





成蹊中高の教育は
こちら



中学校のカリキュラム

POINT-1

成蹊生としての
学習習慣、生活習慣を
身につけます。

スケジュール
管理帳
『日進月歩』



POINT-2

中1では、1クラス36名で
個性を認め合いながら
協調性を培います。



POINT-3

教科内容の細分化(地理・歴史・公民、
物理・化学・生物・地学)に対応した
専門教員と学習を進めます。



成蹊中高の教育

EDUCATION SYSTEM

体験を通した学習を重視し、

本物を見て、触れて、確かめることで、自ら考える力を養います。

発育や成長に合わせたカリキュラムと、生徒一人ひとりに寄り添う指導により

自らの才能を自覚し、伸ばしていけるようにサポートします。



本物に
触れる教育

動植物の観察、専門機材を使用した実験、林苑や前庭を使ったフィールドワーク等、本物に触れる教育で学習を深化させていきます。

第二外国語

高2・3の演習科目では、中国語、フランス語、ドイツ語、朝鮮・韓国語を選択できます。(希望者10名以上で成立)



成蹊の食材を使って
家庭科の授業では、春に敷地内の竹林で収穫した筍で「筍ご飯」を作ります。

帰国生 特設英語クラス

中3ではジョージ・オーウェル著『1984』を題材に、ディスカッションを通じて社会の在り方や生き方について考え、学びます。



高校のカリキュラム

高校1年

共通カリキュラムを通じ、
自らの資質や関心を
見いだす力を身につけます。

共通カリキュラム

進級するにつれて
選択カリキュラムが増えていきます

英語

グレード別に2段階に分けた授業を行います。

数学

高校からの入学生と内部進学生でクラスを分けて授業を行います。

芸術

必修選択
(音楽、美術、工芸、書道)

高校2年

文系・理系の
いずれかを選択し、
進路を具体化します。

理系コース

文系コース

選択演習(数学、外国語、芸術など)

高校3年

文系・理系の進路に合わせた
19のコースを設定。全授業の
約半分以上をコースごとに行います。

理系10コース

文系9コース

選択演習(数学、外国語、芸術など)

英語

数学

グレード別に3段階に分けた授業を行い、それぞれのレベルアップを図ります。

成蹊家庭科 シンポジウム

クラスで選抜された代表によるテーマ学習の発表大会を行っています。優秀なグループは外部の大会にも挑戦します。



STARTUP CAMP

タイのバンコクで、社会課題解決を目指すスタートアップキャンプを実施します。グローバルな視点でビジネスプランを創出します。

学習旅行の企画

いかにワクワクさせる学習旅行計画を立てるか、チームで話し合いながらプランを提案します。



「桃李」道徳の授業

「10年後、自分が社会にどう貢献できるか」をテーマに調査やインタビューを行い、パワーポイント等を使用して作成したポスターを発表します。

企業との協働学習

マーケティングを学び、商品開発から販売までが体験できる探究プログラムです。





国語

JAPANESE LANGUAGE

深く正確な読解力を身につけ
理解し、考え、表現する力を養う

国語・
現代文

考える力を育む

多くの文章を読み、他者の意見を聞くことで新しい視点を獲得し、自身の考えを深めていくことを大切にしています。考えを表現する経験を積み重ねることで、思考の柱を形成します。

古典

慣れ親しみ、深い理解へ

中学では国語科教員が編集したオリジナルテキストを用いて代表的古典作品に慣れ親しみ、高校ではより詳細な読解を行います。作品の面白さに触れることで興味を持って読み解くことをめざします。

作文・文法

自分の言葉で表現する

中学では独立した授業として取り組み、高校でも現代文の授業を通して作品を解釈し、文章にすることで力を伸ばします。正しい文法を身につけ、他者に理解してもらえ文章力を養います。



数学

MATHEMATICS

数学の本質を理解し、
直感力と論理的思考力を身につける

中学

基礎学力の確実な定着をめざす

中高6年間の数学を俯瞰し、数学の本質を理解して楽しむことに留意して指導しています。そうすることで早期の段階で高校数学を理解する論理的な思考力が養われます。高校数学の一部を先取りしたり、超難問に挑戦したりするなど余裕を持った勉強ができます。

高校

普遍的に応用できる学力の定着をめざす

数学はそれ自体純粋に魅力的な教科ですが、自然科学や経済学などに応用できる教科でもあります。試行錯誤しながら「真理」に迫る経験は、大学入試を突破する力をつけることは勿論、将来いろいろな仕事をする上でも役に立つ力が身につきます。

社会

SOCIAL STUDIES

授業で得た知識を体系的に整理し
今ある社会の仕組みを考察する

地理

現実の社会と社会科学習を結びつける

地域社会と国際社会の現状を学びながら、知識を得るだけでなく、社会を仕組みとして理解する思考を身につけます。日本の社会、国際社会の中で自分の存在を意識することをめざします。

歴史

事象の原因やつながりを的確に捉える

現在との対話につながるように歴史を学びます。過去のできごとの因果関係をつかみながら、今ある「私たちの社会」がどのように形作られてきたのかを考察し、同時に現在を見る目を養います。

公民

社会と人間を学び生きる力を身につける

平和で民主的な社会を主体的に形成していく上で必要な知識を身につけるに加えて、現代の具体的な課題についても原理的・理念的に捉え直す論理的思考力を身につけることをめざします。



理科

SCIENCE

本物に触れることで視野を広げ
幅広く自然科学の基礎を身につける

物理

実験を通して幅広く学ぶ

充実した機材を用いた多様な実験を通して、物理現象の捉え方や問題の考え方を体験的かつ体系的に学んでいきます。

化学

実験やモデルを通して抽象概念を理解する

基礎的な実験器具の扱い方から学習を始め、原子等ミクロな世界も模型を利用し、暗記に頼らず体系的な知識を獲得していきます。

生物

学園内の自然から学ぶ

緑豊かな校内の動植物に触れながら、実践的な授業を展開。遺伝実習を含め、多様な実験・観察を行い、自然科学の基礎を身につけます。

地学

好奇心に応える専門性の高さ

中学から専門の教員による授業を展開。実物に触れ、映像やパソコンを駆使して学習します。生徒自身による気象観測は長い歴史を誇ります。



おもちゃちゃん



教科ガイド

SUBJECT GUIDE

成蹊の偏りのない学習は深い教養と
多角的な視点から物事の本質を見極める力を養います。
自らの興味・関心を発見し、
さまざまな可能性を育てます。



成蹊の楽しい
学びが大好きです

2025年度 中学3年
水田さん

成蹊の授業の一番の魅力は、生物で魚の解剖をしたり、美術で成蹊の自然を描いたり、化学で時に危険な実験もしたりと、思わず自分から前のめりになってしまうような楽しい学びができることです。「桃李」という独自の授業では、学年ごとに行われる探究学習があります。私が2年生の時は「吉祥寺をchange!」というテーマで、吉祥寺をより快適にするための提案を考え、各班スライドを作りました。そして代表に選ばれた班は実際に市の方や商店街の方の前で発表をします。自分で課題を見つけて解決策を考える、こういった勉強を楽しんでいる成蹊の授業が大好きです。



英語 (外国語)

ENGLISH (FOREIGN LANGUAGES)

“言葉を使う体験”を重視し
将来に活かせる
語学力を身につける

中 学

4つの基本技能をバランスよく習得

一貫して音声を大切に、「聞く・話す・読む・書く」(4技能)の基礎をバランスよく身につけます。英語の発音と発表能力が向上します。外国人教師の授業が中1・2では週1回、中3では週2回あります。言葉の「やり取り」が得意になります。

高 校

英語を使いながら身につけ、大学受験にも対応

普段の授業から、外国人教師や日本人教師と英語で「やり取り」することを意識して学習を進めています。高2以降は、帰国生向け英語、基礎英会話、第二外国語(全て選択科目)を履修することもできます。変化する大学入試の新傾向に対応した力をつけます。



情報

INFORMATICS

情報の科学的な理解や活用法を
体系的に学び課題や目的に応じて
実践するための素地を身につける

高 校

時代の変化にとらわれない、普遍的な“情報”の知識を習得

コンピュータの仕組みやプログラム、情報分野にかかわる法規、著作権等を学習していきます。これらのことを通じて、情報活用を実践するための素地、生涯にわたって残る教養を育みます。

芸術

ART

楽しく芸術に親しみながら
表現する力、創造する力を育成する

書 道

人間性を高めるために「書く」

書道を「書写」ではなく自己表現のひとつとしてとらえ、中国の古典に触れ、さまざまな表現技術を駆使して、「文字」を造形する楽しさを体験します。

美 術

絵画、版画、彫塑、デザインなどで表現力を体得

さまざまな制作を通して、創造力を高めます。高校の美術では油彩のほか、日本画、彫塑、版画などにより表現の幅がぐんと広がります。

技術・
工芸
デザイン

形の把握、技術の習得、工夫する喜び

多彩な手道具や機械類が揃った造形館で自ら製図・設計をし、基本から制作までを学びます。

音 楽

演奏から学ぶ、音楽との良い付き合い方

中学ではギターの演奏、高校では珍しいオーケストラ楽器の実習を通じて、身のまわりの音楽との関わりかたを体感しながら学んでいきます。



保健体育

HEALTH AND PHYSICAL EDUCATION

体力・技術の向上を目指し
スポーツに親しむ
資質・能力・リーダーシップを育てる

中 学

基本的な運動能力を体得する

安全に留意しながらスポーツに取り組む態度を育てることを大切に、「跳ぶ力」「走る力」「投げる力」といった基本的な運動能力を高め、健康の保持増進のための実践力の育成と体力向上を図ります。

高 校

運動に主体的に取り組む姿勢を育てる

中学で体得した総合運動能力を発展させ、運動の合理的かつ計画的な実践を通して、運動の本質的な楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てます。



家庭

HOME ECONOMICS

多くの体験を積み重ね
生活を豊かに創造する力を養う

中 学

本物に触れる、生きた体験学習

頭付きの魚をさばいたり、自分の体を採寸して型紙から服を製作するなどの、本物に触れる生きた体験学習により、豊かな生活を自分の手で作り出せる実践力を育みます。

高 校

生活者として自立し、発信する力を養う

自分の将来に大きく関わるテーマについてICT機器を利用しながら探究的な学習も行います。考えたことは班で発表したりレポートにまとめたりするなど、論理的に表現する力を養います。



STUDENT'S
VOICE



興味が広がる
実践的な授業が
魅力

2025年度 高校3年
小林さん

成蹊の大きな魅力は、個性豊かな先生方の授業です。授業では動画や実験などさまざまなツールが使われ、次の授業が自然と楽しみになり、新しい分野の興味を広げることができます。私は、理科館での実践的な授業を通して、理系科目が面白いと思うようになりました。また、社会の授業では、歴史の背景について深いところまで理解することで、世界の情勢を積極的に学ぶようになりました。好きなことや将来に向かって努力する周りの仲間と助け合いながら、日々楽しく学校生活を送っています。

TEACHER'S
VOICE



プロセスを
大切にして
自分の頭で
考える力を

清水 義弘 教諭
(数学担当)

数学の学習では、正解を導き出すことに焦点が当てられがちですが、論理的思考力や問題解決能力を養うことも目的の1つです。みなさんが社会に出ると、数学のように明確な正解がある場面ばかりではありません。そんな場面でも、限られた条件の中で解決策を探る作業は、数学の問題を解く過程に似ています。ですから、授業では、数学の基本的な理論を学ぶだけでなく、学びのプロセスも大切にしています。「なぜそうなるのか?」「別の考えはないか?」という探究心や、自分の頭で筋道を立てて考えることを意識して授業を行っています。「わかった」という達成感や考える楽しさを感じられるのも数学の醍醐味です。一緒に楽しみながら、数学の世界を広げていきましょう!

科目紹介はこちら





国際理解教育

GLOBAL PROGRAM

広く世界へ目を向け、異文化への理解を深め、
多様性のあふれる国際社会で活躍できる人材を育てます。

成蹊では、日ごろから多くの科目を通して国際感覚を養い、
真の国際人の育成をめざしています。ネイティブスピーカーの
教員による語学の授業から異文化への理解を深めるだけでな
く、政治経済、日本史、世界史などの科目を通じて、国際社
会を理解するために必要な近現代史の教育にも力を注いでい
ます。また、毎年多くの留学生を受け入れています。受け入れ
る留学生の存在は、海外に出たことのない生徒も異文化に触

れることができ、有形無形の異文化体験となっています。
さらに、留学制度や国際理解プログラムが充実しているのも
本校の大きな特徴です。成蹊では1935(昭和10)年に全国に
先がけ、帰国生を受け入れ、その教育を目的とした国際学級
を設立しました。現在でも、国際学級・帰国生入試などでさま
ざまな文化を身につけて帰国する生徒を受け入れ、在校生に
も良い刺激を与えています。



多彩な留学プログラム

本校では、個性と教養を備え、協調性
を持ちながら自己開拓できる人材を育
成するため、早い時期から世界に目を
向けた教育を実施してきました。成蹊な
らではの留学制度の充実もそのひとつ
です。アメリカのセントポールズ校とは
1949年から、オーストラリアのカウラ市
の高校とは1970年から交流を開始。奨
学金付きのプログラムなど、成蹊独自の
プログラムが充実しています。

※最新のプログラムについては、
本校ウェブサイトをご確認ください。



アメリカ

United States of America



セントポールズ校

卒業生の目覚ましい活躍

アメリカ屈指の全寮制私立高校、テンスクールの
ひとつ。卒業生はハーバード大学、イエール大学な
どの名門大学に進学し、世界的に活躍しています。

アメリカ

United States of America



フィリップス・エクセター・アカデミー校

2016年から相互交流

アメリカのテンスクールのひとつ。日本語を学
ぶ生徒を受け入れ、本校からも同校のサマープロ
グラムに奨学生を送っています。

デンマーク/スウェーデン

Denmark
Sweden



ルンステッド高校(デンマーク)

カルマーレ国際高校(スウェーデン)

北欧の高校生と机を並べて学習

両校とも日本語コースのある私立学校で、成蹊独
自の交流校です。ホストファミリープログラムでの
受け入れと、夏期派遣を行っています。

アメリカ

United States of America



チョート・ローズマリー・ホール校

ハイレベルなサマースクール

アメリカのテンスクールのひとつ。サマースク
ールへの派遣と、長期留学生の派遣を行っていま
す。

オーストラリア

Australia



セント・ラファエルズ・カソリック・スクール

ホームステイプログラムも充実

オーストラリアのカウラ市との歴史ある協定留学
制度。長期・短期の留学生はホームステイを通し
て、現地の生活を肌で感じます。

カナダ

Canada



ターム留学プログラム

バンクーバー近郊の語学学校と現地校へ

1月～3月の9週間、ホームステイをして通います。
語学だけでなく、異なる文化や価値観を持つ人々
と交流を図ることで、精神的にも成長することが
できます。

アメリカ

United States of America



カリフォルニア大学 デービス校(UCD)

英語プレゼンテーション力もアップ

「英語とキャリア教育」を中心に学び、英語での
プレゼンテーション力が鍛えられます。2週間の
短期留学を行っています。

イギリス

United Kingdom



ケンブリッジ大学

成蹊高校のための独自のプログラム

ケンブリッジ大学のペンブルックカレッジが提供
するサマープログラム。世界屈指の名門校で、英
語やイギリスの社会、文化を学びます。

ニュージーランド

New Zealand



短期留学プログラム

中学2・3年生が対象

2024年度から開始したプログラムで、ホームス
テイ体験、異文化体験とリンクした英語研修を柱と
し、国際理解を深めます。

【国内における国際教育プログラム】

中学1年

イングリッシュ
シャワープログラム

中1の希望者を対象とした、2日間にわ
たり英語漬けの生活を体験するプロ
グラムです。日本とイギリスの学校、文化
や表現の違いなどを学びます。

中学2年

プレグローバルスタディーズ
プログラム

中2の希望者を対象とした、グロー
バルスタディーズプログラムの前段階の
プログラムです。



中学3年・高校1年・2年

グローバルスタディーズ
プログラム

外国人ファシリテーターのもと、海外
からの大学生・大学院生を含む5～6
名のグループに分かれ、英語でディス
カッションやプレゼンテーションをし
ます。

【成蹊が紹介するサマープログラム】



中学2～3年

イーグルブルック校(アメリカ)
中学生向けのグローバル・
リーダーシッププログラム

アメリカのテン・スクールの多くの卒
業生を輩出する中学校でのサマース
クールです。中学2・3年の生徒が参加
可能です。

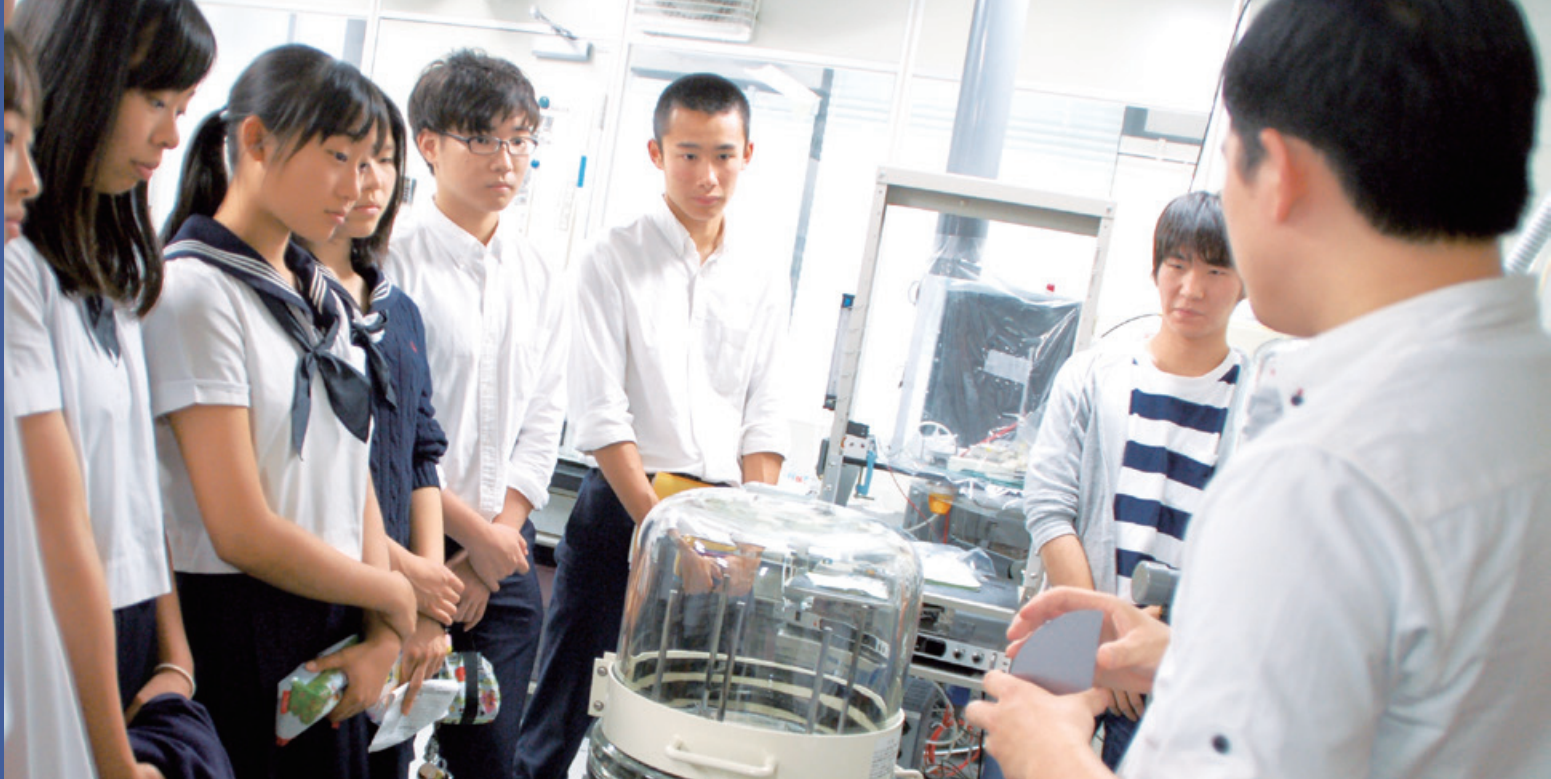
【留学生の受け入れ】



高校のクラスに所属し、クラスの
一員として授業や行事に参加し、クラ
ブ活動にも加わります。

【財団などが主催する留学プログラム】

ロータリー、AFS、YFUの留学プロ
グラムは、本人の希望があり学校が
認めれば、留学終了後、留年せずに
進級ができます。



進路・進学

ACADEMIC &
CAREER COUNSELING

才能、個性を大きく育て、進路を主体的に選択できるよう

さまざまな情報を発信しながら、目標の設定を支援、指導しています。

「将来、こんな仕事がしてみたい、研究がしてみたい」というきっかけづくりになるためにも、成蹊では「本物に触れる授業」を通じて幅広い教養を身につけ、各自の知的好奇心や科学的探究心を刺激していくことを大切にしています。成蹊大学教員による講演

会や模擬授業、理工学部の実験室見学会とともに、医歯薬・芸術分野を含む多方面で活躍する卒業生の協力により、進路・進学についての講演会や相談会、企業見学など、生徒自身の主体性を醸成させ、継続する力となる講座を展開しています。



上級TOEFL®講座、
海外大学準備講座、
アカデミックスキル講座

海外での授業の受講や進学をめざす生徒向けに、上級TOEFL®、海外大学準備講座、アカデミックスキル講座を実施しています。アメリカ人のアカデミック・アドバイザーが担当し、指導しています。

成蹊大学との連携(高大連携)

ワンキャンパスという環境を活かし、研究室見学会や講演会を実施。高校3年では大学の正規の授業を受講でき、成蹊大学進学後には単位が認定される制度もあります。



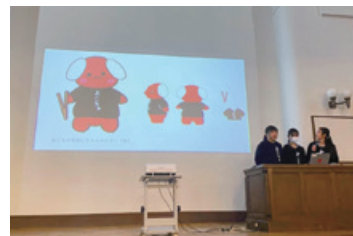
成蹊大学ゼミ体験 (中大連携:中3)

各分野の最先端の学問に触れる大学の学びを中学生のうちから体験することで、自らの将来や進路を考える機会としています。



論理コミュニケーション講座

コミュニケーションも論述力も、論理的思考に支えられています。高1では論理的思考を進めるためのルールを学び、高2では自身のキャリアをテーマにして“探究”しながら、それぞれ実際に文章を書いていきます。



桃李のプレゼン大会

桃李(道徳)では各学年のテーマに沿って、グループまたは個人で探究活動を行い、答えのない問いについて考えます。



自習室

高校生が自由に使える自習室。このほかに進路指導室、図書室、職員室などにも自習スペースがあります。

成蹊の進路・進学に
ついてはこちら



進学について

成蹊大学への内部推薦制度

例年、約30%の生徒が成蹊大学への内部推薦を希望し進学しています。内部進学のためには、3年間の成績と出席状況が一定の条件を満たす必要があります。高校生活にきちんと取り組んでいれば条件をクリアすることは難しくありません。また、成績上位者には、内部推薦の資格を持ちながら外部大学の受験が可能な内推併願制度もあります。



成蹊大学

外部大学への進学

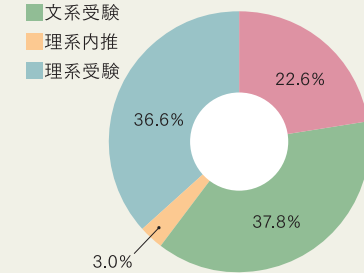
近年、約70%の生徒が成蹊大学以外の大学への進学をめざしています。成蹊高校での学習内容は、大学受験にも十分対応しています。本校では一人ひとりの志望を尊重しながら進路相談を行い、大学・学部を選択や受験に向けての対応をしています。また、指定校推薦を含む学校選抜型入試や総合型選抜などによる他大学進学の手道もあります。

2025年度
指定校推薦
依頼実績

慶應義塾大学／早稲田大学／上智大学／立教大学／
東京理科大学／中央大学／国際基督教大学／北里大学(医)／
獨協医科大学 など

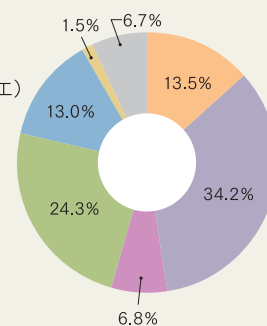
2024年度 高3生の文理別割合

文系内推
文系受験
理系内推
理系受験



2025年度入試 志望系統別

人文科学系
社会科学系
国際系
自然科学系(理工)
医歯薬獣医系
芸術系
その他



2025年度入学者選抜 大学合格実績(既卒含む)

2025年4月2日付

国公立		私 立	
東京大学	2	上智大学	35
筑波大学	3	早稲田大学	25
東京農工大学	2	慶應義塾大学	19
東京科学大学	2	立教大学	26
横浜国立大学	2	青山学院大学	28
千葉大学	4	明治大学	25
東京藝術大学	1	中央大学	33
東京学芸大学	1	法政大学	27
都立大学	1	東京理科大学	31
その他	5	北里大学	11
合計	23名	成蹊大学(内部推薦併願含む)	113
		ほか	113
		医学部医学系	28名
		東京医科大学	1
		北里大学	5
		杏林大学	5
		順天堂大学	2
		帝京大学	2
		東京女子医科大学	3
		ほか	3
		合計	28名
		国際教養系	12名
		上智大学(国際教養)	1
		早稲田大学(国際教養)	2
		国際基督教大学	4
		立命館アジア太平洋大学	2
		法政大学(グローバル)	2
		武蔵大学(国際教養)	1
		合計	12名
		歯/薬/医療/獣医系	44名
		東京理科大学(薬)	2
		北里大学(薬/獣/看/衛)	2
		杏林大学(看)	1
		順天堂大学(薬/看)	2
		昭和医科大学(歯/薬)	2
		東京薬科大学(薬)	2
		東京慈恵会医科大学(医看)	1
		ほか	1
		合計	44名

成蹊での 学びと経験が 「今」に つながっている

多くの仲間と関わり

互いの個性を認め合いながら

自ら考え行動する。

成蹊での学びと経験が

多様な将来像へつながっています。



森川 麗 さん
小～高 2004年卒

東京医科大学医学部卒
慶應義塾大学大学院
医学研究科博士課程修了
慶應義塾大学病院勤務
消化器内科医

知性と個性を育む学び

受験勉強だけではない、
これからの人生に役立つ学びがある。

成蹊は生徒の自主性を重んじ、自由に学ぶことができるのが魅力の1つです。蹊祭では、有志の仲間と和太鼓の公演のためにひっそりと練習をしていたのは良い思い出です。受験用の小論文が苦手だった私を先生が特訓してくださいました。先生と生徒の距離が近く、質問しやすい環境のため、学校で丁寧に指導していただけたことが、一番力がついたと今でも感謝しています。幅広い教育を受けるため科目が多く当時は大変でしたが、現在は、専門性の高い職業であるが故、広い視野が求められ、視野が狭くなりがちな点を補ってくれていると感じています。

尊敬し合える、刺激し合える“人”との出会い

部活動を通じた出会いが、
人生の大きな財産。

成蹊での6年間はテニス部に所属し、テニスに集中する毎日でした。高校生の時に全国大会の団体戦に出場した経験は、目標を設定し、それに向け努力し、仲間と目標を達成するプロセスを学べた貴重な機会になりました。尊敬し合える、刺激し合える“人”との出会いを大事にしたいという軸も、先生、仲間たちとの時間から養われたように感じます。今でもテニス部の仲間と集まる機会があり、ごく自然に皆が集う、まさに「桃李言わざれども、下自ら蹊を成す」を体現しているようなコミュニティです。このようなつながりは、成蹊の温かな学びの環境と、世代を超えて受け継がれる伝統の賜物だと感じています。



小杉 周平 さん
中～高 2007年卒

慶應義塾大学総合政策学部卒
三井物産株式会社を経て
株式会社白岩(日本酒酒蔵)勤務



宮崎 愛子 さん
中～高 2012年卒

慶應義塾大学大学院
法学研究科政治学専攻・
サラゴサ大学大学院(Spain)・
グラナダ大学大学院(Spain)修了
外務省 外交官
(在キューバ日本大使館勤務)

グローバルな体験あふれる留学

自分の心に従った決断を尊重し、
見守ってくれる校風。

入学当初より交換留学をしたいと思っており、AFSのプログラムを通じてデンマークへ1年間の交換留学をしました。言語も文化も全く知らない環境に飛び込み、現地校に通ったことは、自分の世界を広げ、その後の進路や今の仕事にも繋がる経験となりました。実はこの留学、学内選考の結果、留学を諦めかけていたところ、先生の助言もあって見つけた留学先でした。成蹊には、生徒の可能性を摘まず、背中を押し、最後はそれぞれの決断を見守ってくれる空気があります。自分で考える力を身につけ、自由に生きていく姿を在学中も卒業後も見守ってくれる成蹊で過ごした日々は、かけがえのない財産です。

ワンキャンパスならではの環境

自分の大学生像がイメージしやすい
ワンキャンパスの良さ。

成蹊の先生方は生徒のやりたいことに対し「指導」ではなく、「選択肢を与えてくれる」というような立ち位置で生徒がチャレンジしたいことや取り組みを見守ってくださいました。このような環境にいたことで、社会に出てからも恐れることなく自ら考えて行動する力を得られ、主体的に会社組織の一員として貢献できていると思います。高校3年の時に、大学では統計学を学びたいと思い、成蹊大学理工学部の統計学を扱う研究室の教授に話を聞きに行き「ここで学びたい」と進学を決意。日常的に大学生の姿を見ることで将来のことを自分で考えるきっかけになり、自分のやりたいことを考えて進路を決められました。



小野塚 健 さん
高～大学 2014年卒

成蹊大学理工学部卒
東京工業大学社会理工学研究科修了
三菱地所株式会社勤務



水野 伶佳 さん
小～高 2009年卒

早稲田大学国際教養学部卒
グーグル合同会社勤務
ジュエリーブランドの立ち上げ・
海外基礎化粧品代理販売

仲間との絆を深めた部活動

仲間のために、誰かのために、
自ら考えて行動する大切さ。

高校から始めたバレーボール部で選手としての活躍が難しかった私は、試合では特にチームのために何ができるかを考え、行動しました。チームの応援や雰囲気づくり、For the Teamという精神はその後の人生にとっても影響しました。現在の仕事でも、この精神や行動を大切にしており、相手が求めていることに対して的確な提案や実施に向けたサポートができるよう心掛けています。また、副業が認められている環境の中で、ジュエリーブランドを立ち上げたり、基礎化粧品の販売を手掛けたり、それらの仕事に共通しているのは、人を応援し、誰かのために行動するFor the Teamの精神が息づいていることです。

さまざまな挑戦が可能な教育

幅広い教養教育。
さらに留学と大学受験が両立できる。

高2の時に1年間オーストラリア留学を経験しました。帰国後は先生方が個別の質問に対応してくださる等のサポートで受験勉強に打ち込むことができ、東京大学文科二類に現役で合格しました。教科の枠に囚われない多様な考え方や体験、ディスカッションをする機会がたくさんあったことで、自らの興味を追求できました。現在の仕事では複雑な契約書を読解する論理性や、事業採算性を吟味する数理的素養が必要とされますが、そうした幅広い技能を獲得する土台となる知識は、文理を問わずさまざまな分野を学習する成蹊の教養教育によって培うことができたと感じます。



黒木 壮太 さん
中～高 2017年卒

東京大学経済学部卒
株式会社国際協力銀行
(JBIC)勤務



村岡 恒輝 さん
中～高 2010年卒

東京大学
工学部化学システム工学科卒
東京大学大学院
工学系研究科化学システム工学専攻修了
東京大学大学院工学系研究科 助教
東京大学卓越研究員

人生を充実させる刺激的な学びの環境

成蹊での学びが
日々の仕事と生活の基盤になっている。

図書室の蔵書数は当時もトップクラスで、新書や全集を中心にたくさん利用しました。高校生になると大学の図書館も申請の上利用でき、早くから大学の雰囲気と蔵書を味わうことができます。受験だけに捉われない、時には大学レベルの刺激的な授業、本格的な実験、自然を体感しながら行う体育、実用的な調理実習等が充実しており、当時教わったことは毎日の仕事や生活に活かされています。人格形成の大切なフェイズである10代を過ごす場所として、成蹊は素晴らしい環境です。学校生活を通じて、人間関係の基盤を固め、人生を意義あるものにするための習慣を身につけることができます。



入学式

式典が行われる
本館は成蹊学園の
シンボル。



ピーチくん
成蹊の名の由来
「桃李不言下自成蹊」の
ことわざにちなんだ
マスコットキャラクター

体育祭／
体育大会

学年を超えてクラス
対抗で競い合い、大
いに楽しめます。企
画や運営は生徒たち
が主体となって行い、
自立と自律の精神を
学んでいきます。

クラス一丸となって
盛り上がります！



ピーチちゃん



毎年秋に開催している文化祭。自主性を育むために、
生徒自身が企画して運営します。準備段階から本番ま
で協力し合い、手づくりのイベントを成功させることで、
大きな達成感を得ています。

文化祭
(文化祭)

年間行事

SCHOOL EVENTS

力を合わせて行事を作り上げ、体験を通じて本質を捉える目を養う。
周囲との関係を築きながら、心と体を大きく成長させます。

Event Calendar

*は希望者のみ
★は中学・高校合同開催

中 学

- 入学式
- 始業式
- オリエンテーション
- 防災訓練
- 新入生歓迎会

- 体育祭
- 遠足
- 中間テスト

- 授業見学会
- ★文化部発表会
(6月展)

- 期末テスト
- 夏の学校(1・2年)
- 終業式
- ★グローバルスタディーズ
プログラム*

- ★カウラ市の高校
短期留学(3年)*

- 始業式
- ★蹊祭(文化祭)

- 中間テスト
- 修学旅行(3年)
- 防災訓練

- 生徒会役員選挙

- 期末テスト
- 終業式
- ニュージーランド短期留学(2・3年)*

- 始業式
- ★文化部発表会
(1月展)

- イングリッシュ
シャワープログラム(1年)*
- プレグローバルスタディーズ
プログラム(2年)*
- ★留学体験報告会*

- 学年末テスト
- 合唱祭
- 卒業生歓送会
- 終業式
- 卒業式
- ★UCD短期留学(3年)*

高 校

- 入学式
- 始業式
- オリエンテーション
- 防災訓練
- 新入生歓迎会

- 体育大会
- 生徒総会
- 中間テスト
- 遠足

- ★文化部発表会
(6月展)

- 期末テスト
- 終業式
- 学習旅行(2年)*
- ケンブリッジ大学短期留学*
- ★グローバルスタディーズ
プログラム*

- 学習旅行(2年)*
- ★カウラ市の高校
短期留学*
- 北欧短期留学*

- 始業式
- 体育大会
- ★蹊祭(文化祭)

- 中間テスト
- 防災訓練

- 名人会

- 期末テスト
- 終業式
- 学習旅行(2年)*

- 始業式
- ★文化部発表会
(1月展)
- ターム留学*

- マラソン大会(1・2年)
- ★留学体験報告会*

- 学年末テスト
- 卒業式
- 終業式
- ★UCD短期留学*

夏の学校
(中1・2年)

本物に触れながら
「自分で考える力」を
身につけていく体験
学習の中でも、特に
大自然に親しむこと
ができる夏の学校。
自然観察や仲間づく
りを行います。

新しい旅行企画の
提案も可能です！



北海道



山口県



愛媛県



鹿児島県

修学旅行
(中3年)

成蹊が重視している体験
学習のひとつです。京都・
奈良に行き、いろいろな
教科で事前に学習した内
容を実際に体験。本物に
触れることで、知的好奇
心を高めます。



体験を通して
成長するよ。



ピーチどん

学習旅行
(高2年)

高校で行う学習旅行は、一般的修学旅行とは
違います。生徒と教員と一緒に企画し、少人数・
希望者参加の形で実施します。夏休みや冬休みに、
海外も含めて合計8つほどのコースを設定。貴重
な体験を通して誰もが大きく成長していきます。

卒業式





● 剣道部 中 高



● 硬式テニス部 中 高



● サイクリング部 高



● サッカー部 中 高



● 山岳部 中 高



● 柔道部 中 高



● 水泳部 中 高



● スキー部 高



● バスケットボール部 中 高



● 卓球部 中 高



● ソフトテニス部 中 高



● バドミントン部 高



● バレーボール部 中 女 高



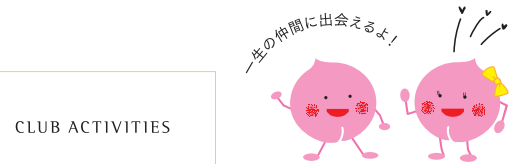
● 野球部 中 高



● ラグビー部 中 高



● 陸上競技部 中 高



クラブ活動

放課後の時間を有意義に使い、
心身を鍛錬するクラブ活動。
目標をもって夢中になれる場所が
きっとみつかります。

※一部のクラブを除いて活動は中学・高校別々に行います。



● イラスト漫画部 中



● 英語部 中 高



● 演劇部 中 高



● 科学技術部 中



● 家庭部 中



● コーラス部 中 高



● 自然科学部 中



● 社会探検部 中



● 写真部 中 高



● 書道部 中 高



● 吹奏楽部 中 高



● ストリングス部 中 高



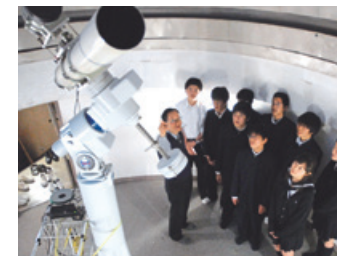
● 生物部 高



● ダンス部 中 高



● 鉄道文化研究部 高



● 天文気象部 高



● 美術部 中 高



● 文芸部 高



● 料理部 高

〔生徒会の活動〕

生徒の自発的な活動の中心となっているのが生徒会です。生徒が学校に愛着を持って取り組み、協力する活動の場として大きな役割を担っています。東北の復興支援など、社会貢献にも積極的に取り組んでいます。

中学生徒会



蹊祭(文化祭)で行った「防災意識」を広めるためのプレゼンクイズ



目安箱に寄せられた生徒の声に、一言を添えて可視化

高校生徒会



2011年から続く東北復興支援活動



FM西東京で生徒会がスクールダイバーシティの活動をアピール

ONE DAY

高校生のある1日を見てみよう！



8:10 登校 8:15 朝礼



吉祥寺駅からバスに乗って5分で学園正門に。そこからケヤキ並木を数分歩いて到着。8:15から朝礼。「凝念」で心を落ち着かせ、集中力を高めます。

8:30 午前の授業



月曜日から1、2時限は教室。3時限目の地学は理科館に移動。成蹊の理科は、実物や現象を実際に見たり(観察)、体験(実験)したりすることを重視しており、設備の整った理科館で授業が行われます。午前は4時限目まであります。

12:20 昼休み



教室でお弁当を食べたり、中高中央館内に約300席ある高校食堂で昼食。食後の自由時間は仲間と楽しく過ごします。

13:10 午後の授業



5、6時限が午後の授業。月曜は英語と保健体育ですが、水曜日の芸術の授業では、美術・工芸は造形館、書道・音楽は特別教室棟で行います。

15:00 放課後



6時限目終了後に再び教室に集まり、終礼が済んでから部活動となります。1年生の部活参加率は8割以上。学年を超えた交流が盛ん。下校は18:30(4~10月)、17:30(11~3月)です。



ケヤキ並木

五日市街道から中高門まで続く並木道で、四季折々の表情が楽しめます。このケヤキ並木は現在、武蔵野市の天然記念物に指定されているほか、「新東京百景」や「残したい日本の音風景100選」にも選ばれています。

- | | | |
|-------------|------------|--------------------------------|
| 1 中学ホームルーム棟 | 7 中高グラウンド | 12 野球場 |
| 2 高校ホームルーム棟 | 8 中高テニスコート | 13 けやきグラウンド
(400m競技場・ラグビー場) |
| 3 中高中央館 | 9 大学テニスコート | 14 サッカー場 |
| 4 理科館 | 10 中高第1体育館 | 15 ハンドボールコート |
| 5 造形館 | 11 中高第2体育館 | 16 北プール |
| 6 特別教室棟 | | 17 気象観測所 |

※ 9 12 13 14 15 16 17 は学園共用施設です。

施設紹介 CAMPUS FACILITIES

武蔵野の豊かな緑に囲まれた
充実した施設を備える学習環境。
広くゆとりのある学び舎で
仲間たちとの絆を深めます。



1 中学ホームルーム棟

床など建物の多くに木材を使用した
温かみのある校舎です。



■フリースペース

1学年全員が集まれる広さで同じ学年の生徒同士でお互いの顔が見える、コミュニケーションを図るスペースです。



■ホームルーム教室

各教室に大型ディスプレイやプロジェクターを設置。



■中学生徒ホール

昼休みに食事をしたり、放課後には仲間と勉強をしたり、生徒が自由に過ごせるスペースです。



■分割教室

学習経験別に分かれて行う英語の授業など教育の特色でもある多様な授業形態に対応しています。



■フリースペース

ガラスが多く使用され、明るく開放感にあふれたコミュニケーションスペースです。



■ホームルーム教室

各教室に大型ディスプレイやプロジェクターを設置。



■進路指導室

大学入試や模擬テストなどに関する資料が取りそろえられており、進路指導のためのスペースも充実しています。



■合同教室

2クラス合同の授業などで使用される教室です。



2 高校ホームルーム棟

進路指導や
個人面談のためのスペースも充実。
機能性あふれる校舎です。

13 けやきグラウンド



人工芝が敷き詰められたグラウンドです。ラグビー場を兼ねた400mトラックは、授業やクラブ活動、試合などに使用されています。

8 中高テニスコート



中高専用のテニスコートは、全部で5面。人工芝なので天候に左右されることなく、ボールを追うことができます。

12 野球場



両翼90m、中堅115mの球場で、外野には鮮やかな天然芝が植えられています。中高・大学の野球部が使用しています。

3 中高中央館

最新の教育機器を導入し、充実した教育環境を誇っており、図書室・高校食堂も完備しています。



■高校食堂

約300席の食堂です。メニューも多彩で、栄養バランスにも配慮しています。



■探究

勾玉型の机16台を自由に動かし、グループ活動ができます。プロジェクター6台を同時に表示可能です。



■高校図書室

中高合わせて16万冊の蔵書を誇る図書室。自習のスペースとしても利用されており、留学生向けの図書や充実した映像資料が特色です。



■中学図書室

2割を占める帰国生向けの英文書籍や、『手塚治虫全集』をはじめとするコミックの充実が特色です。

5 造形館

造形館では、生徒自ら意匠し、つくり出すことをテーマに授業が行われます。中学校の技術・美術、高校の美術・工芸デザインの授業に使われます。



■技術室

木工、製図など技術や工芸デザインの制作教室として使われています。



■美術室

油彩や日本画、各種版画制作など、美術のアトリエとして使われています。



PICK-UP! 天体ドーム

理科館屋上の天体ドームには屈折望遠鏡が設置されており、野外観察会や皆既月食のオンライン中継などにも使われています。



PICK-UP! 剥製・標本

1,000点を超える貴重な剥製・標本があり、授業で積極的に活用されています。

4 理科館

成蹊の伝統である「実験実習重視」を象徴する、理科教育のための施設。各科ごとの講義室や実験室を備え、屋上に天体ドームを設置しています。理科の授業は全てこの理科館で行われます。



■物理

実験室2室、講義室1室、準備室2室を備え、2名の実験助手の補助のもと豊富な実験実習を行っています。



■生物

豊富な実験観察器具および生物標本を備えており、また、校内の豊かな自然が直接授業に利用されています。



■化学

講義室のほか、本格的な薬品庫を備えており、実験・観察を中心とした授業を行っています。



■地学

旧制高校時代から収集されている地学標本には貴重なものが多くあります。

6 特別教室棟

1学年全員が収容可能な大教室をはじめ、芸術・家庭科教育のための施設が充実しています。放課後はクラブ活動でも活用されています。



■大教室

舞台と映写設備が付設された施設で、学年ごとのオリエンテーションや講演会、クラブ活動の発表会、日常の部活動などに利用されます。



■調理室

9台の調理台および試食用のテーブルが設置されています。調理に関する本も充実しています。



■音楽室

大型スクリーンを備えた大小2つの音楽室では、オペラ・オーケストラなどの映像作品も鑑賞できます。



■書道室

半切作品を書くことができる大きめの机に、端溪硯・書架・墨床が備えられています。

制服紹介はこちら



成蹊の制服

中学、高校ともに詰め襟、セーラー服です。セーラー服のストラップスタイルも導入しています。スカーフは、中学はえんじ色、高校は黒色となっています。中学には指定のセーターもあります。2025年度より、盛夏服としてポロシャツが導入されました。



中学セーター
左胸に
校章の刺繍が
入っています。



中学、高校ともに
セーラー服の襟には
桃の刺繍があります。



中学 冬服



中学 夏服



高校 冬服



高校 夏服

[受験生と保護者のみなさまへ]



充実した環境で出会い、育まれる絆は、生涯にわたる財産となっていきます。

父母と教師の会(PTA) 川口さん

生徒たちは、先生方やさまざまな方々のサポートのもと、勉強や部活動、校内外の行事を通じて互いを認め合いながら尊重し、力を合わせることで日々伸びやかに学校生活を送っています。そして、その中で培われる人と人との絆、人格の育成こそが大きな魅力です。ここでめぐり会えた仲間と共に、どんなときでも協力し、助け合い、成長しながら毎日楽しく学校生活を送っていることを親としてとてもうれしく思います。



みんなで協力し、切磋琢磨しながら共に成長できる環境

2025年度 中学3年 明石さん

季節の移ろいを新鮮に感じられる並木道を、楽しく歩く時間が学校生活のスタートです。ディベートの授業では、多くの意見が飛び交いクラス中が白熱します。『桃李』の時間で、日本の伝統楽器についての特別講義がありました。一息で和音のする笙の音色の複雑さが印象深く心に響きました。中学入学前は不安もありましたが、先生方や成蹊小学校出身の友達、バスケットボール部の仲間とすぐに打ち解けることができ、とても充実した学校生活を送っています。



個性を尊重する自由と活気に溢れた校風

2025年度 高校3年 福田さん

成蹊は、なにより個人を尊重してくれる場所です。先生方は生徒一人ひとりがやりたいこと、追求したいことを自由にやらせ、そして見守ってくれます。1年生では翌年に行われる学習旅行のために、生徒たち自身で、予算内で計画を立て、全体でプレゼンテーションをし、選ばれたプランは旅行会社と話し合って実現するという、他の学校ではできない貴重な体験もできます。そういった体験をしながら、生徒同士の距離も近くなり、自由と活気に溢れた雰囲気が醸成されています。